

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月19日更新

事務事業名	合志市市民大学事業		<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
総合計画	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	教育委員会事務局	課長名	辻 健一
計画	施策	21	生涯学習の推進	所属課	生涯学習課	担当者名	吉岡 麻理沙
体系	基本事業	69	生涯学習施設(環境)の整備	所属班	生涯学習班	(内線)	1515
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果 : ①
	一般	10	5	3	11348		コスト削減優先度評価結果 : ②
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 21 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	生活や地域の課題に対応するために幅広い知識や技術の習得を目指す市民に対し学習機会を提供するため、市民大学を設立し各種講座を開講する。 各講座は、土曜日の午前10時から開講(1時間30分程度)。交通手段を持たない方が、会場のヴィーブルに来ることができるよう、レターバスや循環バス、乗り合いタクシーやその他の公共交通機関の運行時間に考慮して設定している。 26年度は「心理学」をテーマに、臨床、発達、教育心理学等を題材とした講座を4回開催した。
【業務の流れ】	①テーマ及び講座・講師の選定。②講師の依頼。③受講生の募集。④講師との打ち合わせ。⑤講義の準備。⑥講師謝金等の支払い。
【主な予算費目】	報償費(講師謝金)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	毎回、講義終了後にアンケートをとっているが、受講生からは、次年度に学びたい内容などについての意見や要望が寄せられている。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
①手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
26年度は、12月~1月にかけ「心理学」をテーマに、臨床、発達、教育心理学を題材とした講座を4回開催した。 ・12/13 ストレスマネジメント教育とは ・12/20 ミドルエイジ&シニアエイジのためのコミュニケーション術 ・1/24 子どもの育ちを支えるかわりか方法を考える ・1/31 うつ病や慢性の痛みとストレス	次年度も一本のテーマを設定し、4回程度の講座を開催する計画である。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
ア: 開講講座の回数	回
イ: 受講生数	人
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
市民	ア: 市民 人
イ: 市民 人	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
幅広い知識や教養を身につけることができる。	ア: 幅広い知識や教養を身につけることができたと考えた人数 人
イ: 幅広い知識や教養を身につけることができたと考えた人数 人	
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2)各指標・総事業費の推移		単位	24年度実績(決算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	28年度予定	見込	見込	
①活動指標	ア	回	3	4	4	4	4	4			
	イ	人	90	101	120	88	120	120			
②対象指標	ア	人	57,501	58,237	58,900	59,067	59,200	60,100			
	イ	人									
③成果指標	ア	人	50	62	60	50	70	80			
	イ	人									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円			10		10			
		繰入金	千円								
	一般財源	(A)事業費計	千円	60	20	70	80	70	120		
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0		
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0		
		正規職員従事人数	人	3	2	1	3	1	0		
		延べ業務時間	時間	120	20	400	215	400	400		
(B)人件費計	千円	488	79	1,593	856	1,593	1,593				
トータルコスト(A)+(B)	千円	548	99	1,673	936	1,673	1,713				

事務事業名	合志市市民大学事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	-----------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 住民の関心も高いと思われる内容をテーマに講座を計画していく。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 アンケート等から得た、受講希望者が学びたい分野やテーマ等の講座を開催するなどして、受講者数の増加や内容の向上をはかる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 生涯学習講座に統合することができる。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費のほとんどは講師への謝金である。主に市と学連携している大学等から低い金額で大学教授などを招聘しているため、事業費自体の削減余地はないが、生涯学習講座開催事業に統合することで、事務・人件費の削減が期待できる。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 生涯学習講座開催事業に統合することで、事務・人件費の削減が期待できる。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 受講者は受講料を支払っており公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 受講生や市民の中から有志を募り、ボランティアの市民大学友の会や運営委員会といった組織を立ち上げ、ここに講師の選定や打ち合わせ、受講生への連絡、講座当日の受付等を行うことで、市民自身が行政とともに学びの場を作り上げていくことが今後の活性化に繋がる。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

現在のところ、各講座の受講生数が当初の予想より少ないが、アンケート結果等を見ると満足度は高い。今後は、募集のやり方などに工夫を加えて、受講生の増加を目指したい。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>生涯学習講座に統合し、その中の一講座として実施していく。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			△	低下			△
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	○																				
	維持			△																		
	低下			△																		
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						